



福島県鉄工機械工業協同組合
理事長 渋谷修一

春めいてまいりましたが、皆様には益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。平素は組合事業に格段のご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年3月11日の東日本大震災以降早いもので1年以上経過いたしました、ようやく東北は復旧から復興に向け動き始めたように感じられます。

先日発表された日銀福島支店3月の県内企業短期経済観測調査によると業況判断指数(DI)は、全産業でプラス12と全産業の統計を取り始めて以来初めて2桁となりました。

しかしながら、製造業を見るとマイナス4と昨年12月時点より2ポイント悪化、全国中小企業製造業のDIはマイナス10となり、先行きについてもマイナス15と厳しい見通しとなっております。

背景にあるのは原油高による影響、原材料価格の上昇、過去最高からは幾分戻し小康状態にあるとはいえ未だ予断を許さない円高、さらに電力不足によるリスクと電気料金の値上げなど多くの問題があるようです。

さて、報道によると政府は楢葉、広野沖に洋上風力発電の研究事業を計画、2015年度中までに世界最大の出力となる7000KW級の浮体式洋上風力発電施設を含む三基を設置し、将来的には民間主導で100万KWの発電を目指す模様です。

7000KWとはどの程度なのか、東電の福島原子力発電所の発電量を調べてみました。

福島第一と第二原子力発電所の総出力は910.6万KW、柏崎刈羽原子力発電所でも821.2万KWとなっております。

福島第一、第二原発の2009年度の稼働率は80%程度ですので、7000KWの風力発電で福島原発分を補うとなると1040基必要なことになります。

そこで、ソフトバンクが苫小牧市に建設を計画している太陽光発電施設についても調べてみましたところ、20万KW程度で東京ドーム約100個分480ヘクタールとありました、同様に福島原発の発電量を稼働率80%として計算した場合、同等の発電量を得るために必要なソーラーパネル設置施設は、山手線内側の面積の2.6倍、相馬市の9割ほどの面積となります。

乱暴な計算ですが、平均的な住宅の屋根に現在普及している標準的な太陽光パネルを取り付けた場合、福島原発相当の発電量を得るための試算をしましたところ1550万戸の屋根が必要という結果となり、日本の総世帯数が4900万世帯程度という事から考えると、気が遠くなるような数字となってしまいました。

風力も太陽光も地熱発電にしても原発代替にはしばらく時間がかかりそうで、喫緊の電力不足対策としては、やはりCO₂排出枠を購入してでも火力にお世話になる必要があります。

燃料は価格や環境を考慮するとカーボン量が少ないLNGが望ましいところでしょうが、設備の制約もあり石炭、原油、重油も使用せざるを得ません、そうなるとこのところの原油高も心配されます、経済産業省所管の日本エネルギー経済研究所の試算では、54基の全原発が止まった場合には、年間の燃料調達コストは3.5兆円増え、1家庭当たり1000円以上電気代が上がる計算になるそうです。1日も早い低価格で安定したエネルギーの確保が私どもの業界にとっても待たれるところです。



平成24年新年会を開きました

平成24年1月27日（金）午後6時～ホテル福島グリーンパレスにおいて開催

出席者は総勢41名。福島県商工労働部長様を始め各関係機関・当組合顧問各位・当組合員で新年の決意を新たに交流懇談会を行ないました。

羽田青年部会長の開会宣言に続き澁谷理事長の挨拶、そして御来賓の方々からお祝いのお言葉を頂戴し、商工中金支店長様の乾杯のご発声で開宴。懇談・懇親を深めました。

組合員各位、御来賓の皆様 御多忙中のところ多数のご参加を頂きありがとうございました。



新年の挨拶をする澁谷理事長



福島県商工労働部次長
鈴木 精一氏
(商工労働部長代理)



福島市商工観光部
産業交流プラザ所長
佐藤 太 氏 (市長代理)



◆福島大学との交流会

開催日時 平成24年2月23日（木） 午後1時30分

開催場所 国立大学法人 福島大学

【講演】共生システム理工学類棟 大会議室

【見学】共生システム理工学類研究実験棟

機械加工室

出席者数 16名



澁谷理事長の開会・挨拶の後、共生システム理工学類の高橋隆行教授による講演が行われました。地元企業と大学が連携し大学の設備を有効活用することで企業が抱える問題解決に役立ててほしいと熱い思いを好演されました。将来は、横のつながりが広がり若い技術者の意見交換の場として気楽に誰もが立ち寄れるようなサロンのように利用してほしいと考えているそうです。

次に、同大学の共生システム理工学類研究実験棟にある機械加工室に場所を移し、施設見学を行いました。最新の設備や高度な技術の説明に参加者の皆様が聞き入りました。

技術者の横野征正氏より、機械設備の説明を受けました。大学側では、試作品の相談にも応じる準備もあるようです。設備投資が難しい時に利用できれば、企業にとって強い味方になると思います。



今回の交流会は、地元大学と地元企業との意見交換や連携によって生まれる世代間での“横のつながり”による新たな可能性を感じるものとなりました。

福島市技能功労者表彰霞正人氏の受賞を祝う会

平成24年3月2日（金）午後6時30分より
ホテル辰巳屋において「福島市技能功労者表彰受賞を祝う会」が行われました。

（有）霞鉄工所 代表取締役 霞正人氏は、製缶業一筋35年の中で培った幅広い知識と技術により当組合の共同受注に於いて、製品資質の向上に寄与されました。更に、PTA活動、健全育成推進や消防活動などの地域社会にも貢献され、これらの功績が認められての受賞となりました。

祝賀会は、渡辺理事の開会を受け、澁谷理事長が挨拶され、亀岡顧問の祝辞を頂いた後、金子東光様による乾杯の音頭で祝宴が始まりました。

会場には多くの方がご出席され、霞正人氏の受賞を祝いました。



霞氏のご友人で秋山ギター教室の秋山智樹氏による、クラシックギター演奏も行われ、お祝いに華を添えました。

霞正一様、福島市技能功労者受賞、誠におめでとう御座いました。



第15回親善ボウリング大会

平成24年3月16日（金）ラウンド1において開催しました。

鈴木親善委員長の開会宣言の後、板倉親善副委員長から競技上の留意点が説明され、澁谷理事長の始球式でゲーム開始となりました。

チームごとに分かれ、それぞれ思い思いにボウリングを楽しみ、大会の最後には団体・個人ごとの表彰式が行われました。



参加チーム 16チーム 48名

団体の部

優勝	(有)原田鉄工チーム
準優勝	鉄工組合チーム
第3位	(株)永沢工機 ゆりチーム
B : B	(株)永沢工機 ちゅうりっぷチーム

個人の部

優勝	吉田直也	357点	(株)永沢工機
準優勝	阿部春男	332点	(有)原田鉄工所
第3位	阿部節子	305点	(有)原田鉄工所
B : B	佐藤秀崇	100点	(株)永沢工機
当日賞16位	加藤知明	259点	伊藤建設(株)
理事長賞27位	佐藤春菜	200点	(株)永沢工機



お互いに交流と親睦を深められた
楽しいボウリング大会でした。
ご参加いただいた皆様、ありが
とうございました。



新規組合員のご紹介

◆有限会社 TSC 代表取締役 斎藤 智次氏

◇創立年月 平成17年12月

◇会社運営のモットー

顧客の求める品質、納期を守りレスポンスの良い対応を心がけ恒に進化し続ける。

◇特色

マシニングセンター、NCフライスや汎用フライス、旋盤にて少量多品種はもとより、短納期品、高精度品に取り組んでいます。



◇休日の過ごし方

現在は遠ざかっていますが、本来オートバイが好きで乗るのも見るのも大好きです。近く、時間を作りツーリングなどを楽しみたいと思っております。

◇その他

今後、組合や組合員のみなさまにお世話になりますが宜しくお願いいたします。

◆株式会社斎藤製缶 代表取締役 斎藤 茂則氏

◇平成21年2月16日創立

モットーは「感謝、誠実、迅速、丁寧な仕事」

◇特色

製缶、鉄骨製作、ステンレス加工、板金、火造、塩化ビニール加工取など

◇余暇の過ごし方

趣味は盆栽。中でも「さつき」です。さつきの展示会にも出展し、賞をいただいたこともあります。手をかけ育てると、とても美しく咲きます。美しく咲いたときは感動です。

最近撮った写真がなくて似顔絵ですみません



※平成23年12月16日開催の理事会において加入承認されました。

組合からのお知らせ

4月分の給与から徴収する雇用保険被保険者負担分が変わりますので給与計算の際は、ご留意下さい。

平成 24 年度の雇用保険料率 前年度より引き下げました。

平成 24 年 4 月 1 日から平成 25 年 3 月 31 日までの
雇用保険料率は、次のとおりです。

(平成 24 年度 雇用保険料率表)

事業の種類	① 労働者負担 (失業等給付の 保険料率のみ)	② 事業主負担			①+② 雇用保険料率
			失業等給付の 保険料率	雇用保険二事業の 保険料率	
一般の事業	5/1000	8.5/1000	5/1000	3.5/1000	13.5/1000
農林水産 製造業の事業	6/1000	9.5/1000	6/1000	3.5/1000	15.5/1000
建設の事業	6/1000	10.5/1000	6/1000	4.5/1000	16.5/1000

組合行事報告

開 催 日	項 目
1月4日	市民交歓会
1月11日	親善委員会
1月27日	中金会新春講演会
1月27日	鉄工組合新年会
2月8日	中央会常任理事会
2月9日	ハイテクプラザ業務運営委員会
2月10日	福島制作所協力会
2月16日	中央会支援事業 I T 研究会
2月22日	ふくしま産業交流会
2月22日	事務局代表者会議
2月23日	福島大学との交流会
2月26日	市政報告会
2月27日	中金会
2月27日	理事会
3月2日	霞正人氏祝賀会
3月16日	ボーリング大会
4月13日	理事会

青年部会事業報告

<u>日 時</u>	<u>内 容</u>	<u>開催見学場所</u>
12月 8日	定例会	組合2F会議室
12月17日	忘年会	嘉右衛門（かえもん）
1月13日	定例会	組合2F会議室
2月10日	新年会	串焼き ころろ

◎青年部会では随時会員を組合加入企業に限らず、広く募集しております。
48歳未満の方は、是非とも入会をご検討ください。
入会希望の方は組合事務局へお気軽にお問い合わせください。



福島県鉄工機械工業協同組合

ホームページURL <http://www.tekkou.or.jp>

E-mailアドレス mail@tekkou.or.jp

〒960-8057 福島県福島市笹木野字南中谷地21-4

TEL 024-558-8011 FAX 024-558-8013